

8.20 広島八木災害報告（第 86 報）

2017.3.9

暖かくなりました。阿武山からうぐいすの声が聞こえてきます。うぐいすにとって土砂災害は関係ないのかもしれませんが。

3月3日、行政の立ち合いで、災害でわからなくなった、土地の境を確定することの集まりをしました。災害前の土地の境の目印が全く消えてしまって、何を根拠にそれぞれの土地の範囲を決めてよいのか苦慮します。一応、天体観測とか古地図を利用して決めることになると思いますが、一回きりの話し合いでは簡単には決まりません。

3月4日、＃8000（小児救急電話相談事業）の相談員さんの全国研修会が横浜でありましたが、欠席しました。そのかわり、当ブロックの佐東学校保健会を、会長として開催しました。小中学校の健康上の現状を語り合う会ですが、児童・生徒には表面上は災害の後遺症は出ておりません。見えていないのかもしれませんが。

3月6日、安佐医師会立の安佐准看護学院の第35回卒業式を開催し、学院長として38名の卒業生に卒業証書を授与しました。18歳～40歳までの男女学生ですが、希望通りの進路に進んでもらいたいと思います。ご多幸を祈ります。

3月8日、安佐南区の社会福祉協議会主催で、「忘れない 8.20 広島豪雨災害～災害時の要配慮者支援の視点からのメッセージ」というシンポジウムが、地元の佐東公民館で開かれました。8.20 災害から2年半経過しましたが、各立場からの演者の皆さんは、当時の災害の怖さを「忘れまい、伝えたい」というメッセージとして、強調しておられました。

厚生労働省は3月2日、平成29年度の社会福祉行政の関連予算の説明会で「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業を重点的に取り上げて、地域福祉の理念の実現と、市町村による包括的支援体制の構築を進める意向です。どんな成果が出るのか、大いに期待しています。

2017.3.9.11 時

桑原医院 桑原正彦